

ご挨拶

このたび、NPO 法人ピン・シャン・コロリ研究会の理事長に就任いたしました。昨年の秋に藤森勝年さんが急逝され、私自身は小金井市長選挙に没頭しており、当会の新理事長についてはふさわしい方を早く決めないと、と思いつつ時間が過ぎ、12月半ばには選挙の結果も出ました。その後理事会で私を理事長にとのお話が出たことを聞きました。

私自身は正直気持ちの切り替えがすぐできず、ご迷惑をおかけしては申し訳ないとの思いもありましたが、なかなか新理事長が決まらないことも何とかしなくてはとの気持ちもあり、受けることにいたしました。

実は、市長選挙において私が一番力を入れて訴えたのが、超高齢社会の中で元気な高齢者の地域での仕事づくりでした。これまでの議会活動の中でも高齢社会をめぐる様々な課題を取り上げており、この会の趣旨である「元気で長生き」の目的を果たすために自治体でできることを提案してきたのは、会の目的にも合致しているもので、目指すものは同じ方向を向いていました。課題は民間の力でどこまでできるかということではないかと思えます。

これまでの当会の活動は藤森理事長のもとで、とにかく楽しく、しかし時代の要請に基づく課題に向き合う活動をというものであったと思えます。この1～2年地域包括ケアシステムの構築に沿って、市民である私たちが出来ることは何かというテーマを藤森理事長は模索していました。最期まで認知症を取り上げたシンポジウムに力を入れていたのはそうした思いがあったからと思っております。その意思を継ぎ、私なりの経験を生かした活動を進めることを目標に頑張りたいと思えます。そして、とにかく楽しく、をモットーに会を運営してまいりますので、是非ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成28年3月1日

NPO法人ピン・シャン・コロリ研究会

理事長 五十嵐京子